

ミニレター
あぜみち通信

* * * * *

平成20年2月1日

86号

編集・発行：愛知県農業会議

農とくらしの研究発表大会が開催されました

農村輝きネット・あいち（成瀬うた子会長）主催による”農とくらしの研究発表大会2008”が、輝きネット会員や関係機関・団体など約260名の参加を得て、1月23日農業大学校研修室で開催されました。

農村輝きネット・あいちは、県内の会員相互の連携活動により、農山漁村において望ましい経営や働き方及びゆとりある生活の研究、知識・技術等の情報交換を行い、男女がともに参画する豊かで活力ある地域社会及び農林漁業の実現を目的に活動しているグループで、現在103グループ、788人が加入しておられ、特産品の開発・販売や食育推進等に努めておられます。

研究発表大会には、各地域を代表して推薦された11事例の中から書類選考による第一次審査を経た5グループが、寸劇や力作の農産物加工品の紹介を含めて、楽しくまた分かり易く発表されました。

県農林水産部農業経営課長、農業総合試験場長、各種団体の代表などによる審査によって、豊田市の農村輝きネット・豊田加茂の大野瀬（旧稲武町の大石志奈子氏を中心とする、農産物加工・直売グループ）が愛知県知事賞を受けられ、平成20年農山漁村女性チャレンジ活動表彰事業の集団の部に愛知県代表として推薦されます。

このほか、岡崎市の岡崎市グリーンレディース（市の広報を活用した受講者募集で、地元産品の加工体験を通じた農業理解促進に努めるグループ）には愛知県議会議長賞が、南知多町の暁グループには愛知県農業改良推進協議会長賞、甚目寺町の輝きネット・甚目寺には愛知県農業会議会長賞、新城市の輝きネット・鳳来には農村輝きネット会長賞が授与されました。

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会結婚相談員研修会を開催

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会は、1月24日西三河総合庁舎において、結婚相談員研修会を開催しました。

研究会には、9会員の結婚相談員や事務局、関係機関・団体の職員など53名が参加して、JA愛知東結婚相談所の安藤君子さんから、取り組みの状況などについての報告を受けた後、財団法人日本青年館結婚相談所の板本洋子所長から、「全国の結婚支援の状況とこれからの若者支援について」と題して講演を頂きました。

板本所長は、昭和55（1980年に日本青年館に結婚相談所が開設以来、農村の嫁不足問題や男女の出会いの場づくりの企画・開催に携わってこられたベテランで、

『現代結婚事情』(家の光協会1987年)を始め、最近では『追って追われて結婚探し』(新日本出版社2005年)など多くの著書を出版しておられます。

社会貢献に意欲を持つ女性と自信を喪失しつつある男性の増加が独身者の増加に繋がっていると、様々なイベント・講座を通じて見聞された各地の事例をまじえて、熱を籠めて語って頂きました。

講演の後は、交流会の参加者の集め方、イベント等でのプライバシーの保護、若者・未婚者への接し方、について熱心な質疑応答が行われました。

常任会議員会議(1月)の審議状況

農地法に係る知事諮問案件等を審議するための常任会議員会議が1月16日開催され、農地法第4条に基づく転用事案49件21,526平方メートル、及び第5条に基づく転用事案396件345,391平方メートルについて審議し、原案通りで了とすることが議決されました。

審議終了後、農地転用などの現地調査を行ないました。

18年4月諮問案件の、東海市名和町のランコム株式会社東海ロジスティクスセンターは、1.77haの敷地に延べ2万2千㎡の倉庫・事務所を擁し、正社員40名及びパート従業員270名(登録、常時は約100名稼働)で、パソコン周辺機器販売業者及び県内の大手食品メーカーの商品保管・出荷業務を受託するとともに、全国約8千社の輸送会社の車両の効率的配車管理を司る「物流情報サービス事業」の拠点となっています。

続いて、東海市農業委員会の久野正二三会長及び井上事務局長の案内で、農業委員会が進めておられる遊休農地対策モデル事業の現場(雑草抑制に効果が有るといわれる「ヘアリーベッチ(マメ科の一年生緑肥作物)」の管理状況)を調査しました。

東海市農業委員会の皆様のご尽力に敬意を表するとともにご協力に感謝します。

認定農業者及び認定志向農業者等研修会を開催

愛知県担い手育成総合支援協議会では1月25日(金)午後2時から、農業総合試験場東三河農業研究所研修館において、愛知県茶業振興大会との共催により認定農業者及び認定志向農業者等研修会を開催しました。

当日は、1時半から行われた第28回愛知県茶園品評会表彰式に集まられた、県内各地の茶業農家など約60名が参加されました。

研修では、同協議会スペシャリストの公認会計士大平吉朗氏から、『後継者への上手な事業承継と財産承継』と題して講演して頂きました。

講演の後、農業会議農政課から農業者年金制度の概要等についても説明し、加入をお勧めしました。

愛知県担い手育成総合支援協議会では、対象者を絞った研修会の開催も考えていますので、ご要望があったらお知らせ下さい。

第2回女性農業委員特別研修会を開催します

愛知県農業会議では、3月3日午後1時30分から名古屋市中区の名古屋能楽堂において第2回女性農業委員特別研修会の開催を予定しています。

当日は、第1回の研修会において行ったアンケートで要望が多かった「女性農業委員としての活動事例報告」と題して、安城市農業委員会の黒柳二三子さん、成瀬早苗さん、増田早苗さん、石川政子さんの4名の女性農業委員による活動事例報告を行います。

また、この他に「農地法等法令関係の基礎知識」について、県農林水産部農業振興課の担当者を講師にお招きしご説明いただく予定です。

多数の女性農業委員や事務局職員等関係者の皆様のご参加をお待ちしています。

魅力ある男性ブラッシュアップ講座を開催します

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会では、農業青年の結婚支援の一環として、魅力ある男性ブラッシュアップ講座を開催します。

第1回(田原会場)

開催日時：平成20年2月22日(金) 13:30

開催場所：華山会館(田原市田原町巴江12-1)

内 容：講演「女性にアピールする話し方」

講 師：ひらきプランニング(株)取締役 平野美保氏

第2回(豊橋会場)

開催日時：平成20年3月7日(金) 13:30

開催場所：ホテル日航豊橋 桃(豊橋市藤沢町141)

内 容：講演「ふれあいの場の見だしなみとマナー」

実演「女性と会話するときのマナー」

講師：NPO 法人花婿学校 代表 大橋清朗 氏

何れも、講師を囲んだ意見交換会も予定しています。頑張っておられる農業青年、結婚相談員、愛花協会事務局の皆さんなど多数のご参加をお待ちしています。

愛花協事務局又は愛花協会事務局へ2月15日(金)までにお申し込み下さい。

平成19年度認定農業者等交流会を開催します

愛知県担い手育成総合支援協議会では3月5日(水)午後2時から、名古屋市東区のメルパルク名古屋において、平成19年度認定農業者等交流会を開催します。

認定農業者等の皆さん方には日頃の経営改善に取り組んでいる内容を仲間と話し合い、意見交換をしながらお互いの切磋琢磨を図ることは大変意義があるものと存じます。

今年も全国優良担い手表彰行事に参加した豊田市の(有)はっぴー農産の「我が家の農業経営改善」、愛知県農業総合試験場長の「最近の試験研究の成果」、益田の森塾塾長森均さんの「やる気を起こす奇跡の大逆転教育」の発表・講演を計画しています。

認定農業者、認定志向農業者を始め多くの方々の参加をお待ちしています。

担い手アクションサポート事業ワンストップ支援窓口を設置しています

愛知県担い手育成総合支援協議会では、平成19年7月からワンストップ支援窓口を設置して、担い手の皆さんの相談に応じる体制を整えてきています。

24名の担い手アクションサポートチームの皆さんで、お待ちしておりますのでご活用下さい。

今後の主な行事予定

- 2月 1日 都道府県農業会議事務局長会議 (東京都)
- 2月6・7日 アグリビジネス研修会 (群馬県)
- 2月7・8日 全国農業経営者研究大会 (東京都)
- 2月12日 稲作経営者会議 夫婦経営対策視察研修 (三重県)
- 2月13日 農地基本台帳・農地地図情報活用検討会 (白壁庁舎)
- 2月14日 愛知県経営構造対策推進協議会コンダクター会議 (白壁庁舎)
- 2月15日 常任議員会議 (白壁庁舎)
- 2月20日 愛知県経営構造対策推進協議会 (白壁庁舎)
- 2月21日 地域担い手育成総合支援協議会担当会議 (白壁庁舎)
- 2月22日 愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会男性教室 (田原市)
- 2月23～25日 全国結婚研究会議 (東京都)
- 2月25日 全国優良担い手表彰・発表会 (東京都)
- 2月28日 愛知県農業振興地域整備基本方針検討会 (中区)

あとがき

吾背児与 二有見麻世波 幾許者 此零雪之 懼有麻思

(わがせこと ふたりみませば いくばくか このふるゆきの うれしくあらまし)

「シングルライフも楽しいけれど、カップルライフも面白いかも。」と、深刻化する農村青年の未婚問題に取り組み、現状を憂えながらも将来に向けて前向きに語られる、日本青年館結婚相談所長の板本洋子先生の講演を伺って、思い出しました。

万葉集「春の相聞」冒頭に収められる、聖武天皇に奉げられた光明皇后の御歌です。光明皇后は、皇太子妃時代に施薬院や悲田院を開かれた方ですが、政務に携わられる天皇とは別々のところで働いておられたのでしょうか。「二人」と表さず「二有」と表現されているのは、万葉仮名の特色なのかも知れませんが、それぞれが「個」としての自分を持って民生の安定に努められた姿が偲ばれるようにも思われます

農家に限らず、晩婚化・非婚化が進み、男性の初婚年齢は平成17年には29.8歳(昭和50年では27.0歳)と高まるとともに未婚青年の比率が高まっています。

他の職業でもそうでしょうが、とりわけ農業は素敵なパートナーと一緒に、将来設計についても日々の作業についても、ともに考えともに喜びを感じて取り組めるもので、生涯の伴侶を確保することは大切なこととです。

幸い、愛知県内では愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会に加盟しておられる農業協同組合や市町村(農業委員会)の皆さんの活躍で、多くの農業青年が素晴らしい伴侶を得ておられますが、まだまだ、努力の余地があるようです。

協議会では、農業に励む青年がより良く自分をPRできるよう、今月末と来月早々に、平野美保先生、大橋清朗先生を招いて講座を開きます。

一人でも多くの農業青年にご参加を頂き、より良い人生設計を描いて頂ければと思います。

お詫びと訂正

先月号の号数及びヘッダ・フッターに誤りが有りました。

「平成20年1月1日号」は「85号」でした。お詫びして訂正します。

なお、ホームページへの収録版については修正して掲載させて頂きました。